

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ハッピーテラス小田原教室		公表日		2026年5月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	机や活動スペースの配置を調整し、児童同士が接触しにくい動線を確保している	利用児の特性（感覚過敏・集中力）に応じた座席配置の更なる工夫
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	利用人数に応じて職員配置を調整し、安全に支援できる体制を整えている	急な欠席時の代替対応や応援体制の強化
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	活動スペースを「学習」「遊び」等に分け、視覚的に分かる環境設定をしている	ピクトグラムや掲示物の統一・見やすさの向上
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃・消毒を実施し衛生環境を維持している	教材棚や細部の整理整頓の徹底
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	クールダウンスペースを設け、気持ちの切り替えができる環境を確保している	使用ルールや声かけの統一
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	支援後の振り返りやミーティングを実施している	職員全員が発言しやすい場づくり
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年1回アンケートを実施し、結果を保護者へ配布・HP掲載している	改善内容の具体化とフィードバック強化
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日常的に職員間で情報共有を行っている	定期的な意見交換の場の設定
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	事業所内で自己評価を実施している	第三者評価の導入検討
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	本部研修を受講し、内容を職員間で共有している	研修内容の現場実践への落とし込み
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	本部のプログラムを基に支援を実施している	個別ニーズに応じたアレンジの強化
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	面談や日常観察によりアセスメントを実施している	記録内容の統一・精度向上
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員全体で支援計画を検討している	多角的な視点の導入
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画を職員間で共有している	実際の支援への反映精度向上
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	日々の行動を観察し記録している	評価基準の明確化
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインに沿った支援を行っている	支援内容の具体性強化
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員でプログラムを立案している	役割分担の明確化

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節行事や外出活動など多様なプログラムを実施している	新規プログラムの開発
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団活動を中心に、必要に応じて個別支援を実施している	個別対応時間の確保
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援前に打合せを行い役割分担を明確にしている	共有内容の質の向上
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援後に振り返りを行っている	気づきの具体化
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援日誌をシステム入力し、2か月に1回保護者へフィードバックしている	記録の分析・活用
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを実施している	見直し精度の向上
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	運動・創作・SSTなど複数活動を組み合わせている	活動構成の意図化
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	児童の意向を聞き取り、活動に反映している	選択機会の拡充
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	担当者会議に参加している	参加内容の質向上
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	授業参観に参加し児童の様子を把握している	学校間の連携差の解消
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	保護者から行事予定・下校時刻を共有してもらっている	学校との直接連携
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	保護者から資料提出+聞き取りを実施している	提出率の向上
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	必要に応じて支援情報を提供している	情報共有の抜け漏れ防止
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	外部研修や助言を受けている	活用機会の増加
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	一部地域活動へ参加している	交流機会の拡充
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	協議会へ参加している	得た情報の活用
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に保護者へ日々の様子を伝えている	内容の記録化
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	保護者相談に対応している	体系的な支援体制
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明と掲示で周知している	理解度の確認
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談・送迎時に相談機会を設けている	機会の均一化
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	計画説明を行い同意を得ている	説明の具体化

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者相談に随時対応している	記録の徹底
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者参加イベントを実施している	ニーズに応じた工夫
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情対応体制を整備し掲示している	対応スピード向上
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月1回レターを発行している	内容の充実
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報同意書を取得している	定期的な見直し
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	視覚支援や通信で情報伝達している	個別対応の強化
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	関係機関と連携している	地域交流の創出
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	マニュアルを整備し常時閲覧可能にしている	訓練頻度の増加
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを整備し訓練を実施している	実践的対応力の強化
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	面談時と年度初めに健康情報確認を行っている	情報の随時更新
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	アレルギー確認を行いイベント時に対応している	記録管理の強化
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	日々安全チェックを実施している	職員の安全意識向上
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	レターで安全情報を周知している	双方向の情報共有
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを共有している	件数・分析の強化
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修を実施している	実践力の向上
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束に関する研修を実施している	実対応力の強化	